

せい ぶつ た ょう せい

生物多様性

アクションブック

私たちにも
できることが
きっとある

生物多様性ってなんだろう？

生物多様性とは、「生きものたちの豊かな個性とつながりのこと」をいいます。

生物多様性には、生きものの「種の多様性」に加え、生きものが棲む「生態系の多様性」、「遺伝子の多様性」という3つのレベルの多様性があります。地球上には、様々な「生態系」が存在し、地球上に存在する全ての生きものは、大気、水、土壤なども含めて、それぞれ複雑に関係し合いながら、バランスを保ちつつ、生態系を構成しています。

また、同じ「種」でも、それぞれ体格等が異なるように、「遺伝子」によって違いがあります。

生きものは、一つひとつに個性があり、お互いに支えあって生きています。



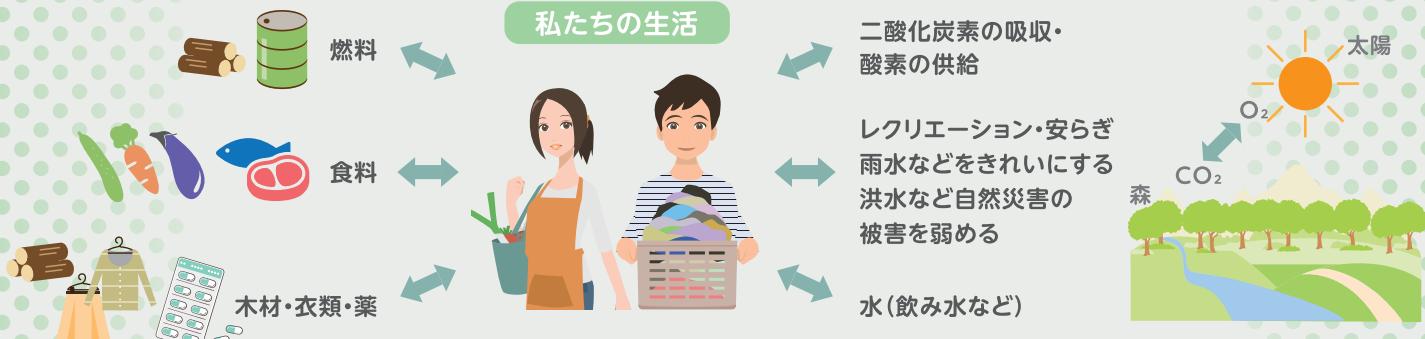
生物多様性はなぜ重要？

「生物多様性」という言葉は聞いたことがあるけど、私たちに関係あるんかな？



私たちの暮らしは、生態系から受ける恵み（生態系サービス）によって支えられ成り立っています。生態系サービスは、多様な生きものが豊かな個性とつながりを持って地球上に生きている、つまり、生物多様性があるからこそ、もたらされるものです。

生物多様性が損なわれると、心の安らぎ、健康や豊かな文化を支えている生態系サービスが低下し、**私たちの暮らしにも影響を与えます**。私たちが、将来にわたって生態系サービスの恩恵を受け、暮らし続けていくためには、生態系全体を保全し、生態系の回復能力を超えない範囲で利用していくことが必要です。



京都と生物多様性

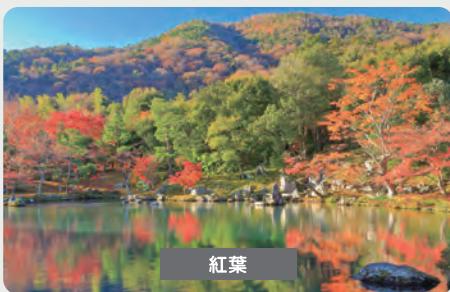
生物多様性って京都と関係あるの？



京都が世界に誇る、伝統、文化、産業、景観は、緑豊かな山々や、鴨川、桂川をはじめとする清流の恵みなど、四季の変化に富んだ豊かな風土により育まれてきたものであり、**生物多様性は「京都らしさ」を支える基盤**となっています。



鴨川



紅葉



庭園

しかし、近年では、里地里山の手入れ不足などにより、かつて京都で当たり前に見られ、利用してきた生きものが減少し、他の地域からの供給に頼らざるを得ない例もあります。

例えば、祇園祭の厄除け粽や京料理の敷き笠などに使用されるチマキザサは、近年、増えすぎたニホンジカの食害等により、**京都市域で絶滅の危機に瀕しています**。そのほか、五山の送り火に使用されるアカマツなど、様々な生物資源が里地里山の手入れ不足等により減少しています。



厄除け粽



五山の送り火



シカの食害

生物多様性が失われることは、京都が「京都らしさ」を失うことにもつながりかねません。

なるほど～京都の生物多様性を守ることは、「京都の文化を守ることでもあるんやね。



生物多様性に迫る危機

こういう問題はニュースや新聞などでよく見るわ。
生物多様性に影響を与えてるんやね。

地球上では、主に人間の活動による影響が原因で、たくさんの生きものたちが危機に瀕しています。



生物多様性の4つの危機

第1の危機

開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少



第2の危機

里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下



第3の危機

外来種などの持込みによる生態系のかく乱



第4の危機

地球温暖化など地球環境の変化による危機



最近では、生きものが誤って飲み込んだり、体に引っ掛かり動けなくなるなど、海に流れ出たプラスチックごみが生態系に影響を与えることも問題になってるよ。



私たちの暮らしも生物多様性に影響を与えていることも・・・

豊かな生物多様性を守るために、あなたにできることがあります！

まずはできることから、生物多様性の保全に取り組んでみませんか？

身近な生物多様性保全の例

これなら私たちでもできそうやね!



さあ、生物多様性保全の取組に参加してみよう！ →

知っておきたい！

生物多様性とSDGs

2015年9月の国連サミットにおいて、気候変動、自然災害、生物多様性、紛争、格差の是正などの国内外の課題の解決に向けて掲げられた国際目標SDGs（エスディージーズ）。

SDGsに掲げられている17の目標のうち、目標6（水の保全）、目標13（気候変動対策）、目標14（海の生態系の保全）、目標15（陸の生態系の保全）は特に生物多様性の保全と深く関係しており、これら4つの目標を土台として、他の「社会」、「経済」に関する目標が成り立っています（SDGsウェディングケーキモデル）。

SDGsを達成し、社会、経済を持続可能なものにするためには、生物多様性の保全が重要です。

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 13 気候変動に具体的な対応を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう

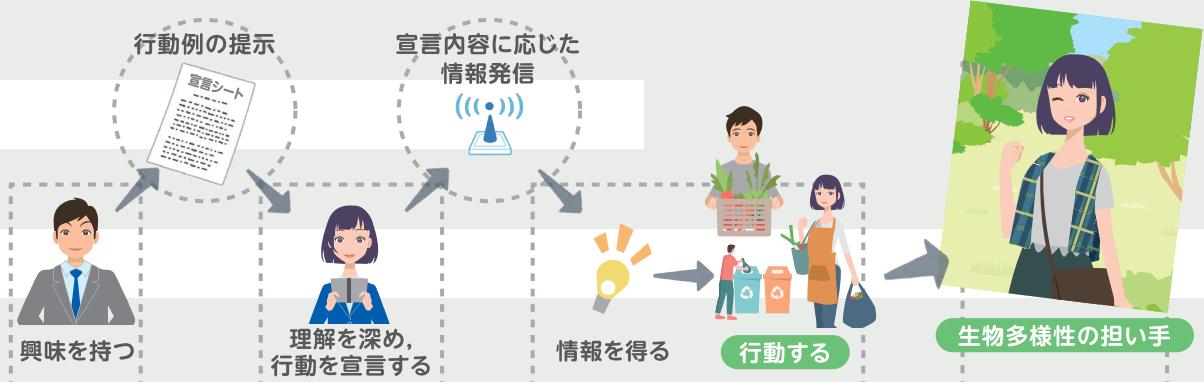
生物多様性と深く関係する項目



みやこ 京の生物多様性担い手宣言制度

まずは生物多様性のためにできること、取り組んでみたいことを考えてみよう！

生物多様性保全のために行動する人（担い手）を増やすため、市民、事業者、活動団体、大学等の皆様に、**生物多様性のため**に取り組みたい行動を選択して宣言いただき、宣言内容に応じて、京都市が**関連情報の発信**や**行動する方・団体同士のネットワーク形成**を行うことで、**行動の実践と継続を支援**します。



宣言のメリット

メールや京都市のポータルサイトで、宣言内容に応じた、生物多様性の活動、イベントや講座等の情報を確認できます。



宣言のメリット

京都市のポータルサイトやメールマガジンを通じて、イベント等の情報を他の宣言者に発信できます。また、同ポータルサイトにおいて、団体の活動内容を紹介します。【団体のみ】



詳しくはこちら



京の生物多様性
担い手宣言制度

みやこ 京の生きもの生息調査

京都市内で見かけた生きものをスマートフォン等で報告するだけ！誰でも簡単に参加できるよ！

京都市の緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を把握するため、市民の皆様に御協力いただき、京都市内で見られる「ツバメ」、「ハグロトンボ」、「セミ」、「ウグイス」の生息状況を調査しています。散歩の途中など、調査対象の生きものを見かけたら、京都市のポータルサイトにアクセスしてご報告ください。



生きものを通じて季節の移ろいを感じ、身近にある自然に目を向けてみませんか？



詳しくはこちら



京の生きもの生息調査



京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

京都の自然を守る活動に
参加してみよう!

葵祭で使われる**フタバアオイ**や祇園祭の粽に欠かせない**チマキザサ**など、本市の伝統文化を育んできた本市固有の生態系を保全するため、京都の祭りや文化を支えてきた**生きものの保全・再生のために活動いただいている団体の取組を認定**しています。また、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣しています。



葵祭で使用するフタバアオイの奉納式(葵里帰り)の様子

ご自宅で希少な植物を育成いただける新たな制度もスタート!

京都の伝統文化を育んできた生きものの保全に、より多くの方々に参加いただくため、令和4年度から、**個人向けのメニューを追加**しました。育成についての講習会を受けたうえで、**ご自宅で希少種を栽培**していただきます。



葵祭の行列の
装束に使用



祇園祭の間、
生け花に使用

その他の希少種



詳しくはこちら



京の生きもの・
文化協働再生
プロジェクト認定制度

ポータルサイト「京・生きものミュージアム」で情報をチェック!

令和4年4月にポータルサイト「京・生きものミュージアム」をリニューアルします。

生物多様性について知りたい方、生物多様性のために何か行動してみたい方、生物多様性保全活動の仲間を増やしたい方は、ぜひチェックしてみてください!

「京の生物多様性担い手宣言制度」、「京の生きもの生息調査」、「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」にも、本ポータルサイトから登録や参加いただけます。

詳しくはこちら



ポータルサイト
「京・生きものミュージアム」

ポータルサイトでできること

- ・生物多様性について調べる
- ・京都のまちと自然との関わりについて知る
- ・市内の生物多様性に関するイベントや活動情報をチェックする
- ・京都市の生物多様性保全の取組に参加する
- ・「京都生きものクイズ」に挑戦する など



三 検索 京 生きものミュージアム ログイン メンバー登録

生物多様性を知る 生物多様性のために行動する 京の生物多様性担い手宣言制度 京の生きものの認定制度 イベントカレンダー Event Calendar

京都の生物多様性

京の生物多様性担い手宣言制度の行動例と生物多様性とのつながり

生物多様性の保全



行動による効果

生物多様性の重要性の認識

生物多様性に関する情報収集

生きものの保全

生きものの生息・生育地の拡大

里地里山の保全

過度な開発や乱獲の防止

地球温暖化の緩和

プラスチックごみによる生態系への影響の低減

宣言項目

生物多様性についての学習

自然と共生してきた伝統的な知識・文化の継承

発見した生きものの情報の共有

生物多様性に関する市民調査への参加

生きものの生息・生育環境の保全活動への参加

文化を支える生物資源の「生息域外保全」への参加

生きもの、自然との触れ合い

旬の食材や地元産の農林水産物の購入・消費

生物多様性に配慮した商品・サービスの利用・消費

地球温暖化への対策

プラスチックごみの削減

行動の具体例

生物多様性セミナー、勉強会などに参加する。

動物園、植物園、水族館などに行く。

昔ながらの知恵を活かし、自然に配慮する。

ウェブ、SNSで生きものの情報を配信する。

京の生きもの生息調査に参加する。

森、川、里山、池沼の保全活動に参加する。

フタバアオイ等の希少種を保全する。

ガーデニング、家庭菜園を行う。

京野菜など、地産地消を行う。

減農薬、オーガニックの商品を購入する。

エコラベルの商品を購入する。

省エネ、節電、再エネに取り組む。

バス、電車、自転車、徒歩で移動する。

マイバック、マイボトルを利用する。

令和3年3月に
「京都市生物多様性プラン
(2021-2030)」を策定!

新たな計画に基づき、
生物多様性保全を推進しています!



詳しくはこちら

公式SNS



facebook



instagram



Twitter

京の生きもの探偵団 @kyono.kimono.tanteidan 生きものミュージアム @ikimonomuseum 京都エコちゃんねる @kankyokanri



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ!

